

事業の基礎情報

事業実施地域	島根県隠岐郡隠岐の島町
人材育成の対象	交通事業者（1次・2次）および隠岐の島町役場交通担当およびまちづくり担当（課長・係長・係員）
人材育成の手法	交通やまちづくりに関わる専門家とのワークショップにより（現地およびリモート活用）、目標や事業を共有する
人材育成の内容	実現目標や実証内容を決定する過程で、持続可能なDX化体系と、実現可能な運営体制をつくる
想定育成人数	交通やまちづくり関係者のワークショップ等参加人数（総人数300名）

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

- ・ 現在、隠岐の島町は公共交通計画（R6年度まで）を策定し、運行ダイヤの変更や路線の変更に対応している。しかし、まちづくりと一体となったという点では問題が残る。
- ・ これは、海上や陸上の運行事業者とのコンセンサス、将来へ向けたビジョンが共有できていないことも要因となっている。そこで、まちづくりと一体となったDX化を図ることを目的に、関係者の意思統一を行うため、ワークショップを通して、様々な課題やビジョンの共有化を推進し、課題解決の方法と実証事業を決定するまでのプロセスデザインを実現する。

（事業の概要）

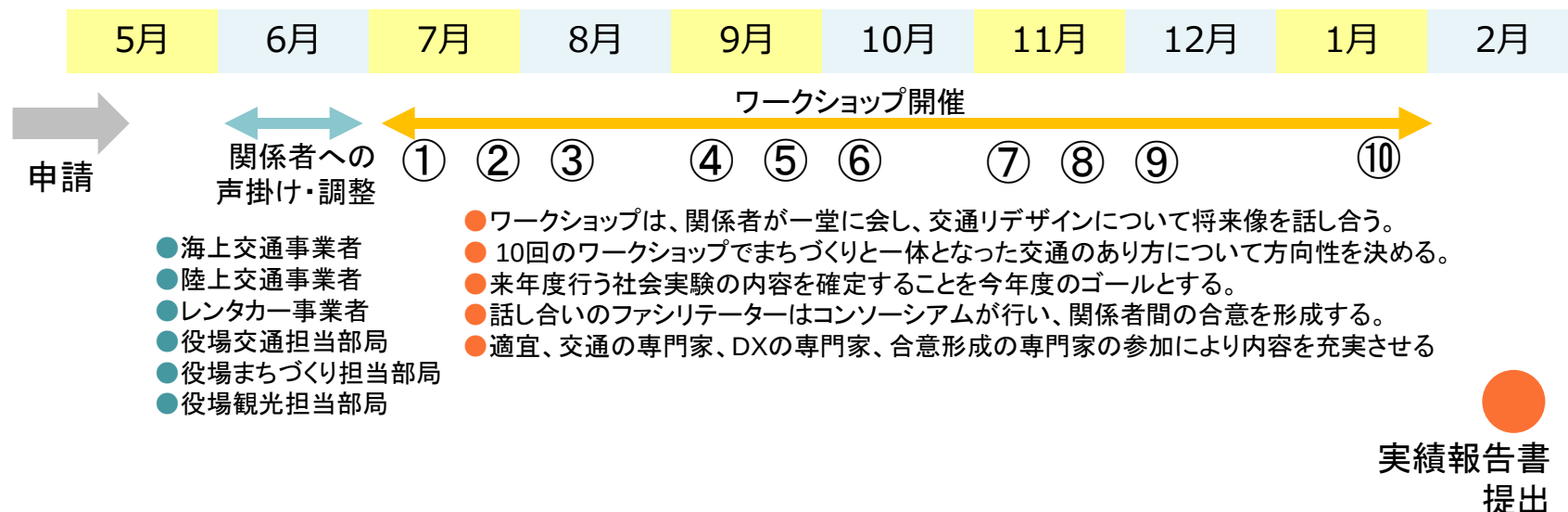
- ・ 交通事業者（1次交通・2次交通）および隠岐の島町役場交通担当およびまちづくり担当者（課長・係長・係員）に対し、ワークショップを通じて、課題の共有、課題解決の方法の選択、持続可能なDX化体系、実現可能な運営体系について話し合い、ひとつひとつについて決定していく。
- ・ 将来ビジョンを共有し、事業内容、事業主体、事業目標を決定するための資料作成などで育成人材のフォローアップを行う。

取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

- 西郷港周辺のまちづくりにおいて、交通DX化に対する交通事業者および役場担当者の意識変容により、デジタル人材の育成と、将来にわたり持続可能な体制を構築する。
- 人材育成に関係した延べ人数を300名人と設定し、その8割以上に意識変容がみられることを目標とする。
- 将来にわたり交通DXを実現する人材を隠岐の島町の中で創出し、育成した人材の中からデジタル技術を用いた起業へ繋げるなど、地域での雇用創出に繋げる。

（事業実施手順・スケジュール）



（補助事業実施後の予定）

- 今年度は、実施事業等の内容を決定する話し合いを行い、来年度は実証に向かいたい。
（来年度実証事業への応募を目標としている）
- その後も、持続可能な体制を維持しながら、まちづくりと一体となった交通DXを推進する。